

学年:	4年生	Stage:	Stage II	コード:	O4202	単位:	3.1
モジュール名	歯科矯正学			科目担当責任者	山口 徹太郎		
モジュール名(英字)	Orthodontics			コース名	ORD 歯科咬合医療系		
一般目標(GIO)	不正咬合に対する治療の必要性和その意義を理解し、正常咬合、成長発育、不正咬合の概念と病因、診断、治療を理解するとともに、治療の実際を修得する。						
ユニット:一般目標	<p>1. 成長発育 身体ならびに顎顔面頭蓋部の成長発育を理解できる。</p> <p>2. 不正咬合の原因 不正咬合を成立させる原因を説明できる。それに起因する障害と予防法を説明できる。</p> <p>3. 咬合 咬合に関する機能を理解する。また正常咬合の概念とその成立と保持条件を理解できる。正常咬合との比較の上で、不正咬合の表現方法と分類法を理解する。</p> <p>4. 矯正歯科治療に伴う生体反応 矯正治療によっておこる生体反応を説明できる。</p> <p>5. 不正咬合の診断 不正咬合の診断に必要な知識、分析、治療計画を習得する</p> <p>6. 不正咬合の診断演習 不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p> <p>7. 乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療 乳歯・混合歯列期の不正咬合の検査、診断、治療、および予防法を説明できる。</p> <p>8. 永久歯列期の矯正歯科治療 永久歯列期の検査、診断、治療法、治療中の管理、保定について説明できる。矯正治療における抜歯・非抜歯について理解できる。</p> <p>9. 歯科材料学 矯正材料の特性について説明できる。</p> <p>10. 矯正装置見学と装置説明 矯正装置、矯正器具を実際に触れてその形態、作用機序の理解を深める。</p> <p>11. 矯正装置作製と歯の移動① 矯正装置作製に必要なワイヤー屈曲の方法を学ぶ。リングアルーチを作製し、装置の作製過程・作用機序を理解する。</p> <p>12. 矯正装置作製と歯の移動② タイポント上でマルチブラケット装着し、装置の特徴・作用機序を理解できる。</p> <p>13. 外科矯正 顎変形症の検査、診断、術前矯正、手術、術後矯正、保定について理解できる。</p> <p>14. 振り返り学習 矯正学全般に関して振り返りを行う。</p>						

教育目標

ディプロマポリシー	DP1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP3
	- / - / -	- / c / b	a / b / c		
a.学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b.学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c.学習成果を上げるために履修する科目					
教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど					
教 1/ 第6版 歯科矯正学/ 飯田順一郎/ 医歯薬出版 参 1/ 歯科国試 ANSWER 2022 歯科矯正学/ DES 歯学教育スクール/ テコム出版事業本部					

評価方法

出 欠 席	履修ガイドに準ずる。全て出席することが必要である。もし欠席した場合は、理由如何に問わず実習担当者に速やかに連絡をし、対応を求めること。実習内容や履修状況によっては、実習の補完を行わない。						
モジュール試験(%)	70	モジュール試験は多肢選択肢問題を出題します。 (再試験・追試験70%、アクティビティ評価は正規授業時間内のアクティビティ評価30%)					
アクティビティ(%)	30	実習により評価します。2回の事前試験(15%)、2回の事後試験(15%)。実習で作製する技工物のステップごとの検印は必須。					
	アクティビティ詳細 (%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
		15					15(事後試験)
再試験の評価方法	モジュール評価が不合格であった場合は、追加のレポートなどの課題が課されます。						
フィードバックについて							
アクティブラーニング							

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_001.6/2.1	2026/06/02	1		講義	11番教室	60
ユニット	総論					
サブユニット	矯正歯科治療の目的と意義					
授業目標	1. 矯正歯科治療の目的を理解できる。 2. 不正咬合による障害を理解できる。 3. 矯正歯科治療の意義を理解できる。					
キーワード	不正咬合による障害、咀嚼機能障害、筋機能障害、顎骨の発育不全、発音障害					
担当	山口 徹太郎, 畠中 玲奈					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P9-14 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容 教科書 P9-14					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-1					
国試出題基準(令和5年)	必修6-4-d, 総論II-8-I-b, 各論I-5-I					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_002.6/2.2	2026/06/02	2		講義	11番教室	60
ユニット	成長発育					
サブユニット	成長発育概論 頭蓋および顎顔面骨の発生および成長					
授業目標	1. 成長発育について理解できる。 2. 頭蓋および顎顔面骨の発生および成長を理解できる。					
キーワード	成長発育のパターン、Scammonの臓器発育曲線、体格(発育)指数、生理的年齢、骨年齢、咬合発育年齢(歯齢)、二次性徴年齢、膜内骨化、軟骨内骨化、骨膜性成長、軟骨性成長、縫合性成長、頭蓋冠の成長発育、頭蓋底の成長発育、蝶後頭軟骨結合、蝶形骨間軟骨結合、蝶篩骨軟骨結合、後頭内軟骨結合、頭指数(セファリックインデックス)					
担当	山口 徹太郎, 高橋 正皓					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P15-38 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-2-1, A-2-4-5, D-5-5-2					
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-b, 総論II-8-I-a, 総論II-8-I-b, 総論II-7-I-a, 総論II-7-I-b, 総論II-7-I-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_003.6/2.3	2026/06/02	3		講義	11番教室	60
ユニット	成長発育					
サブユニット	頭蓋および顎顔面骨の発生および成長 歯列と咬合の成長発育・加齢変化					
授業目標	1. 頭蓋および顎顔面骨の発生および成長を理解できる。 2. 歯列と咬合の成長発育・加齢変化を理解できる。					
キーワード	鼻上顎複合体の成長、下顎骨の成長発育、加齢変化、霊長空隙、発育空隙、ターミナルプレーン、みにくいアヒルの子の時期、リーウェイスペース、Hellmanの咬合発育段階					
担当	山口 徹太郎, 高橋 正皓					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P39-56 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-5					
国試出題基準(令和5年)	必修5-ウ-a, 総論II-7-ウ-a, 総論II-7-ウ-b, 総論II-7-ウ-c, 総論II-7-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_004.6/2,4	2026/06/02	4		講義	11番教室	60
ユニット	成長発育					
サブユニット	口腔機能の発達					
授業目標	1. 口腔機能の発達を理解できる。					
キーワード	咀嚼、嚥下、発音、構音障害					
担当	山口 徹太郎,高橋 正皓					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P56-65 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-2,D-5-5-3					
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅱ-7-ウ-a,総論Ⅱ-7-ウ-b,総論Ⅱ-7-ウ-c,総論Ⅱ-7-ウ-d					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_005.6/3,1	2026/06/03	1		講義	11番教室	60
ユニット	総論					
サブユニット	咬合①					
授業目標	1. 下顎位と咬合位の定義を理解する。 2. 咬合と下顎運動を理解できる。 3. 正常咬合の概念を理解できる。 4. 正常咬合の成立と保持条件を理解できる。 5. 不正咬合の疫学について理解できる。					
キーワード	咬頭嵌合位、偏心咬合位、習慣性咬合位、二態咬合位、中心位、下顎安静位、Posseltの図形、閉鎖路、早期接触、機能的反対咬合、機能的上顎前突、機能的顎偏位、正常咬合、HellmanおよびFrieの説、正常咬合の種類、バクシネーターメカニズム、口輪筋、頬筋、翼突下顎縫線、上咽頭収縮筋					
担当	山口 徹太郎,高橋 正皓					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P66-100 頭蓋骨、乳歯と永久歯の模型を持参。骨の名称を復習しておく。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-1,D-5-5-2,D-5-5-3					
国試出題基準(令和5年)	各論Ⅰ-6-7,各論Ⅰ-6-4,各論Ⅰ-6-ウ,各論Ⅰ-6-エ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_006.6/3,2	2026/06/03	2		講義	11番教室	60
ユニット	咬合					
サブユニット	咬合②					
授業目標	1. 個々の歯の異常について理解できる。 2. 数歯にわたる位置異常について理解できる。 3. 歯列弓の形態の不正について理解できる。					
キーワード	転位、傾斜、移転、捻転、低位、高位、正中離開、対称捻転、叢生、狭窄歯列弓、V字型歯列弓、鞍状歯列弓、空隙歯列弓、過蓋咬合、切端咬合、開咬、交叉咬合、缺状咬合、Angleの分類とその利点・欠点					
担当	山口 徹太郎,畠中 玲奈					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P66-100 頭蓋骨、乳歯と永久歯の模型を持参。骨の名称を復習しておく。 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-1,D-5-5-2,D-5-5-3					

国試出題基準(令和5年)	各論 I-6-7,各論 I-6-4,各論 I-6-ウ,各論 I-6-エ
--------------	-------------------------------------

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_007_6/3_3	2026/06/03	3		講義	11番教室	60
ユニット	不正咬合の原因					
サブユニット	咬合③					
授業目標	1. 不正咬合の原因と分類を理解できる。 2. 先天的原因を理解できる。 3. 後天的原因を理解できる。					
キーワード	環境的要因、遺伝的要因、(口唇裂・口蓋裂、第一第二鰓弓症候群(Goldenhar症候群)、Down症候群(21トリソミー症候群)、Turner症候群、Crouzon症候群、Apert症候群、鎖骨頭蓋異骨症、Treacher Collins症候群、Beckwith-Wiedemann症候群、Russell-Silver症候群、Pierre Robin症候群)、歯数の異常、歯の形態異常、口腔軟組織の形態異常、内分泌障害、脳下垂体、成長ホルモン、末端肥大症(アクロメガリー)、甲状腺、栄養障害、歯の萌出異常、早期萌出、萌出遅延、萌出位置の異常、口腔習癖、齲蝕、歯周疾患、顎関節障害、鼻咽頭疾患、外傷、口腔腫瘍、ブラキシズム、不適合修復・補綴装置、乳歯列期の予防、混合歯列期の予防、永久歯列期の予防					
担当	山口 徹太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P101-116 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-1,D-5-5-2,D-5-5-3					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-6-7,各論 I-6-4,各論 I-6-ウ,各論 I-6-エ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_008_6/3_4	2026/06/03	4		講義	11番教室	60
ユニット	矯正歯科治療に伴う生体反応					
サブユニット	全身的反応 局所的反応 歯の移動に伴う骨改造					
授業目標	1. 矯正力に対する全身的反応を理解できる。 2. 矯正力に対する局所的反応を理解できる。 3. 顎骨、顎関節などにおける変化を理解できる。 4. 歯の移動に伴う骨改造について理解できる。 5. 最適な矯正力による反応を理解できる。 6. 強い矯正力による反応を理解できる。 7. 上顎歯列弓の拡大について理解できる。 8. 全身状態との関連について理解できる。					
キーワード	圧迫側、牽引側、強い矯正力、弱い矯正力、血流障害、貧血帯、硝子様変性、穿下性吸収、血管透過性の亢進、破骨細胞、マクロファージ、直接性吸収、牽引側、歯根膜の伸展、骨芽細胞、繊維芽細胞、セメント芽細胞、骨のリモデリング、歯根吸収、歯根吸収の危険因子、顎関節の骨改造、停滞期、適切な矯正力、適切な矯正力の臨床評価、過大な矯正力、ビスホスホネート、抗炎症薬、糖尿病、感染性心内膜炎、弱年性リュウマチ、低身長					
担当	山口 徹太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P123-135 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-5					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-8					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_009_6/9_1	2026/06/09	1		講義	11番教室	60
ユニット	検査①					
サブユニット	検査①					

授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 矯正臨床における検査の意義を理解できる。 形態的検査の具体的な方法と分析法を理解できる。 <ol style="list-style-type: none"> ①全身的検査 ②顔面写真 ③口腔模型(平行模型、顎態模型、予測模型) ④Tooth size ratio ⑤arch length discrepancy 画像検査を理解できる。 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の撮影法(規格撮影)を理解できる。 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の基準点を理解できる。 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の基準平面を理解できる。
キーワード	顔面写真、口腔内写真、側貌、コンベックスタイプ、コンケイブタイプ、ストレートタイプ、(口腔模型)平行模型、顎態模型、フランクフルト平面、眼窩平面、正中矢状面、予測模型、(模型の観測)歯冠近遠心幅径、歯列弓幅径、歯列弓長径、歯槽基底弓幅径、歯槽基底弓長径、tooth-size ratio、オーバーオーバーレイシオ、アンテリアレイシオ、アーチレングスディスクレパンシー、アベイラブルアーチレングス(歯列弓周長)、リクワイアードアーチレングス、画像検査、パノラマエックス線写真、オクルーザルエックス線写真、手根骨エックス線写真、頭部エックス線規格写真、CT、CBCT、MRI、セファロの基準点、S、Or、Po、ANS、PNS、A、B、Pog、Ptrm、Gn、Me、Go、Ba、Ar、Mo、Is、Ii、基準平面：SN平面、FH平面、バジオンーナジオン平面、顔面平面、口蓋平面、咬合平面、下顎下縁平面、下顎後縁平面、Downs法、Northwestern法、顔面角、上顎突出度、A-B平面角、FMA、Y軸角、咬合平面傾斜角、上下顎中切歯歯軸傾斜角、SNA、SNB、ANB、SN平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角、Tweedの三角、FMA、FMIA、IMPA、FH-SN角、SNP角、下顎角、下顎枝後縁平面角、FH平面に対する上顎中切歯歯軸角
担当	塚田 恵造
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書 P145-176 事後学習 講義の内容
コアカリ(令和4年)	E-5-4-1
国試出題基準(令和5年)	各論 I-6-1

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_010.6/9.2	2026/06/09	2		講義	臨床実習室2	60
ユニット	検査②					
サブユニット	検査②					
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 画像検査を理解できる。 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の撮影法(規格撮影)を理解できる。 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の基準点を理解できる。 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の基準平面を理解できる。 					
キーワード	顔面写真、口腔内写真、側貌、コンベックスタイプ、コンケイブタイプ、ストレートタイプ、(口腔模型)平行模型、顎態模型、フランクフルト平面、眼窩平面、正中矢状面、予測模型、(模型の観測)歯冠近遠心幅径、歯列弓幅径、歯列弓長径、歯槽基底弓幅径、歯槽基底弓長径、tooth-size ratio、オーバーオーバーレイシオ、アンテリアレイシオ、アーチレングスディスクレパンシー、アベイラブルアーチレングス(歯列弓周長)、リクワイアードアーチレングス、画像検査、パノラマエックス線写真、オクルーザルエックス線写真、手根骨エックス線写真、頭部エックス線規格写真、CT、CBCT、MRI、セファロの基準点、S、Or、Po、ANS、PNS、A、B、Pog、Ptrm、Gn、Me、Go、Ba、Ar、Mo、Is、Ii、基準平面：SN平面、FH平面、バジオンーナジオン平面、顔面平面、口蓋平面、咬合平面、下顎下縁平面、下顎後縁平面、Downs法、Northwestern法、顔面角、上顎突出度、A-B平面角、FMA、Y軸角、咬合平面傾斜角、上下顎中切歯歯軸傾斜角、SNA、SNB、ANB、SN平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角、Tweedの三角、FMA、FMIA、IMPA、FH-SN角、SNP角、下顎角、下顎枝後縁平面角、FH平面に対する上顎中切歯歯軸角					
担当	塚田 恵造					
学修範囲(事前事後学修)	* 30cm定規、三角定規、分度器、頭蓋骨、歯科用ノギス、白衣を持参すること 事前学習の範囲 教科書P145-176 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	E-5-4-1					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-6-1					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_011.6/9.3	2026/06/09	3		講義(演習)	臨床実習室2	60
ユニット	トレース					
サブユニット	トレース					

授業目標	1. 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の基準点を設けることができる。 2. 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の基準平面を設定することができる。 3. 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の角度分析項目を計測できる。 4. 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の線分析項目を計測できる。
キーワード	セファロの基準点、S、Or、Po、ANS、PNS、A、B、Pog、Ptm、Gn、Me、Go、Ba、Ar、Mo、Is、Ii、基準平面:SN平面、FH平面、バジオン-ナジオン平面、顔面平面、口蓋平面、咬合平面、下顎下縁平面、下顎後縁平面、Downs法、Northwestern法、顔面角、上顎突出度、A-B平面角、FMA、Y軸角、咬合平面傾斜角、上下顎中切歯歯軸傾斜角、SNA、SNB、ANB、SN平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角、Tweedの三角、FMA、FMIA、IMPA、FH-SN角、SNP角、下顎角、下顎枝後縁平面角、FH平面に対する上顎中切歯歯軸角
担当	塚田 恵造
学修範囲(事前事後学修)	* 30cm定規、三角定規、分度器、頭蓋骨、歯科用ノギス、白衣を持参すること 事前学習の範囲 教科書P156-176 事後学習 講義の内容
コアカリ(令和4年)	E-5-4-1
国試出題基準(令和5年)	各論 I-6-1

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_012_6/9_4	2026/06/09	4		講義(演習)	臨床実習室2	60
ユニット	トレース					
サブユニット	トレース					
授業目標	1. 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の基準点を設けることができる。 2. 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の基準平面を設定することができる。 3. 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の角度分析項目を計測できる。 4. 頭部エックス線規格写真(セファログラム)の線分析項目を計測できる。					
キーワード	セファロの基準点、S、Or、Po、ANS、PNS、A、B、Pog、Ptm、Gn、Me、Go、Ba、Ar、Mo、Is、Ii、基準平面:SN平面、FH平面、バジオン-ナジオン平面、顔面平面、口蓋平面、咬合平面、下顎下縁平面、下顎後縁平面、Downs法、Northwestern法、顔面角、上顎突出度、A-B平面角、FMA、Y軸角、咬合平面傾斜角、上下顎中切歯歯軸傾斜角、SNA、SNB、ANB、SN平面に対する上顎中切歯歯軸傾斜角、Tweedの三角、FMA、FMIA、IMPA、FH-SN角、SNP角、下顎角、下顎枝後縁平面角、FH平面に対する上顎中切歯歯軸角					
担当	塚田 恵造					
学修範囲(事前事後学修)	* 30cm定規、三角定規、分度器、頭蓋骨、歯科用ノギス、白衣を持参すること 事前学習の範囲 教科書P156-176 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	E-5-4-1					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-6-1					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_013_6/10_1	2026/06/10	1		講義(演習)	臨床実習室2	60
ユニット	検査③抜歯分析、顎態の特徴					
サブユニット	検査③抜歯分析、顎態の特徴					
授業目標	1. 模型分析を実施し理解する。 2. 機能分析について理解できる。 3. 抜歯分析ができる 4. 抜歯症例で治療計画を立案できる 5. 模型分析を説明できる 6. アーチレングスディスクレパンシーを説明できる 7.機能検査を理解できる					
キーワード	下顎位の検査、下顎運動路の検査、機能的下顎近心位、ファンクショナルワックスバイト法、筋電図、咀嚼機能、嚥下機能、咬合機能、発音機能、ハイアングルケース、ローアングルケース、過蓋咬合、開咬 アーチレングスディスクレパンシーの計測、歯列弓長径、歯列弓幅径、アーチレングスディスクレパンシー、アペイラブルアーチレングス、リクワイアードアーチレングス、Tweed三角、FMA、FMIA、IMPA、FH-SN角、SNP角、下顎角、下顎後縁平面角、FH平面に対する上顎中切歯歯軸角					
担当	塚田 恵造					

学修範囲(事前事後学修)	* 30cm定規、三角定規、分度器、頭蓋骨、歯科用ノギス、白衣を持参すること 事前学習の範囲 教科書P182-186 事後学習 講義の内容
コアカリ(令和4年)	E-5-4-1
国試出題基準(令和5年)	各論 I-6-1

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_014_6/10_2	2026/06/10	2		講義(演習)	臨床実習室2	60
ユニット	矯正歯科治療における抜歯矯正歯科治療における固定					
サブユニット	矯正歯科治療における抜歯矯正歯科治療における固定					
授業目標	1. 矯正歯科治療における抜歯の意義と目的を理解できる。 2. 抜歯の適応症について理解できる。 3. 抜歯の判定基準を理解できる。					
キーワード	Tweedの分析、歯列弓長径、歯列弓幅径、Arch Length Discrepancy、Avairable Arch Length、Required Arch Length					
担当	塚田 恵造					
学修範囲(事前事後学修)	* 30cm定規、三角定規、分度器、頭蓋骨、歯科用ノギス、白衣を持参すること 事前学習の範囲 教科書P182-186 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	E-5-4-1					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-6-1					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_015_6/10_3	2026/06/10	3		講義	11番教室	60
ユニット	矯正歯科治療における抜歯矯正歯科治療における固定					
サブユニット	矯正歯科治療における抜歯矯正歯科治療における固定					
授業目標	1. 矯正歯科治療における抜歯の意義と目的を理解できる。 2. 抜歯の適応症について理解できる。 3. 抜歯の部位や数について理解できる。 4. 抜歯の判定基準を理解できる。 5. 連続抜去法の意義と目的を理解できる。 6. 固定の定義と意義について理解できる。 7. 固定の種類について理解できる。					
キーワード	抜歯の適応症、Tweedの抜歯基準、Tweedの三角、FMA、FMIA、IMPA、トータルディスクレパンシー、アーチレングスディスクレパンシー、ヘッドプレートコレクション、FMIA=65° (57° 日本人)、小臼歯歯冠幅径、spee弯曲の平坦化、アーチレングスディスクレパンシーの計測法、乳歯の抜歯、永久歯の抜歯、過剰歯の抜歯、ハイアングルケース、ローアングルケース、抜歯数、連続抜歯					
担当	石井 貴和					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書 P182-189、200-211 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-1,D-5-5-2,D-5-5-3,D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-8,各論 I-10-ウ,各論 I-10-1,各論 I-10-オ 各論 I-10-カ,各論 I-10-キ,各論 I-10-ク 各論 I-1-ア-a,各論 I-1-ア-b,各論 I-1-イ-a,各論 I-1-イ-b,各論 I-1-イ-c,各論 I-1-イ-d,各論 I-1-イ-e,各論 I-1-イ-f,各論 I-1-ウ-a,各論 I-1-ウ-b,各論 I-1-ウ-c,各論 I-1-ウ-d,各論 I-1-ウ-e,各論 I-1-イ-a,各論 I-1-イ-b,各論 I-2-ア-a,各論 I-2-ア-b,各論 I-2-イ-a,各論 I-2-イ-b,各論 I-2-イ-c,各論 I-2-イ-d,各論 I-2-イ-e,各論 I-2-イ-f,各論 I-2-イ-g,各論 I-2-イ-h,各論 I-2-イ-i,各論 I-2-ウ-a,各論 I-2-ウ-b,各論 I-2-ウ-c,各論 I-3-ア-a,各論 I-3-ア-b,各論 I-3-ア-c,各論 I-3-ア-d,各論 I-3-ア-e,各論 I-3-イ-a,各論 I-3-イ-b,各論 I-3-イ-c,各論 I-3-イ-d,各論 I-3-イ-e,各論 I-3-ウ-a,各論 I-3-ウ-b,各論 I-3-ウ-c,各論 I-3-ウ-d,各論 I-3-ウ-e,各論 I-3-イ-a,各論 I-3-イ-b,各論 I-3-イ-c,各論 I-4-ア-a,各論 I-4-ア-b,各論 I-4-イ,各論 I-4-ウ,各論 I-4-1,各論 I-4-オ,各論 I-5-ア,各論 I-5-イ,各論 I-5-ウ,各論 I-5-1,各論 I-6-ア,各論 I-6-イ,各論 I-6-ウ,各論 I-6-1,各論 I-7-ア,各論 I-7-イ,各論 I-7-ウ,各論 I-7-1,各論 I-9-ア-a,各論 I-9-ア-b,各論 I-9-ア-c,各論 I-9-ア-d,各論 I-9-イ-a,各論 I-9-イ-b,各論 I-9-イ-c,各論 I-9-ウ,各論 I-9-1-a,各論 I-9-1-b,各論 I-9-オ-a,各論 I-9-オ-b,各論 I-9-オ-c,各論 I-9-オ-d,各論 I-9-カ-a,各論 I-9-カ-b,各論 I-9-キ-a,各論 I-9-キ-b,各論 I-9-キ-c,各論 I-9-キ-d,各論 I-9-キ-e,各論 I-10-ア-a,各論 I-10-ア-b,各論 I-10-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

O4202_016_6/10_4	2026/06/10	4		講義	11番教室	60
ユニット	固定の意義、種類					
サブユニット	固定の意義、種類					
授業目標	1. 固定の定義と意義について理解できる。 2. 固定の種類について理解できる。 3. 抵抗の性質について理解できる。 4. 抵抗の性質について理解できる。					
キーワード	固定、固定の喪失、顎内固定、顎間固定、Ⅱ級ゴム、Ⅲ級ゴム、垂直ゴム、交叉ゴム、顎外固定、インプラントによる固定、単純固定、不動固定、相反固定、加強固定(Nance Holding arch、パラタルアーチ、舌側弧線装置、リップバンパー、ヘッドギア、歯科用アンカースクリュー)、準備固定、最少の固定、中程度の固定、最大の固定					
担当	石井 貴和					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書 P200-211 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-3					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-8,各論 I-10-ウ,各論 I-10-イ,各論 I-10-オ,各論 I-10-カ,各論 I-10-キ,各論 I-10-ク,各論 I-1-ア-a,各論 I-1-ア-b,各論 I-1-イ-a,各論 I-1-イ-b,各論 I-1-イ-c,各論 I-1-イ-d,各論 I-1-イ-e,各論 I-1-イ-f,各論 I-1-ウ-a,各論 I-1-ウ-b,各論 I-1-ウ-c,各論 I-1-ウ-d,各論 I-1-ウ-e,各論 I-1-イ-a,各論 I-1-イ-b,各論 I-2-ア-a,各論 I-2-ア-b,各論 I-2-イ-a,各論 I-2-イ-b,各論 I-2-イ-c,各論 I-2-イ-d,各論 I-2-イ-e,各論 I-2-イ-f,各論 I-2-イ-g,各論 I-2-イ-h,各論 I-2-イ-i,各論 I-2-ウ-a,各論 I-2-ウ-b,各論 I-2-ウ-c,各論 I-3-ア-a,各論 I-3-ア-b,各論 I-3-ア-c,各論 I-3-ア-d,各論 I-3-ア-e,各論 I-3-イ-a,各論 I-3-イ-b,各論 I-3-イ-c,各論 I-3-イ-d,各論 I-3-イ-e,各論 I-3-ウ-a,各論 I-3-ウ-b,各論 I-3-ウ-c,各論 I-3-ウ-d,各論 I-3-ウ-e,各論 I-3-イ-a,各論 I-3-イ-b,各論 I-3-イ-c,各論 I-4-ア-a,各論 I-4-ア-b,各論 I-4-イ,各論 I-4-ウ,各論 I-4-イ,各論 I-4-オ,各論 I-5-ア,各論 I-5-イ,各論 I-5-ウ,各論 I-5-イ,各論 I-6-ア,各論 I-6-イ,各論 I-6-ウ,各論 I-6-イ,各論 I-6-イ,各論 I-7-ア,各論 I-7-イ,各論 I-7-ウ,各論 I-7-イ,各論 I-9-ア-a,各論 I-9-ア-b,各論 I-9-ア-c,各論 I-9-ア-d,各論 I-9-イ-a,各論 I-9-イ-b,各論 I-9-イ-c,各論 I-9-ウ,各論 I-9-イ-a,各論 I-9-イ-b,各論 I-9-オ-a,各論 I-9-オ-b,各論 I-9-オ-c,各論 I-9-オ-d,各論 I-9-カ-a,各論 I-9-カ-b,各論 I-9-キ-a,各論 I-9-キ-b,各論 I-9-キ-c,各論 I-9-キ-d,各論 I-9-キ-e,各論 I-10-ア-a,各論 I-10-ア-b,各論 I-10-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_017_6/16_1	2026/06/16	1		講義	11番教室	60
ユニット	矯正力 マルチブラケット装置					
サブユニット	矯正力 マルチブラケット装置					
授業目標	1. 矯正力の種類と歯の移動様式を理解できる。 2. エッジワイズ装置を用いた治療法を理解できる。					
キーワード	器械的矯正力、機能的矯正力、顎整形力、最適な矯正力、差働矯正力、持続的な力、断続的な力、間歇的な力、傾斜移動、歯体移動、挺出、圧下、回転、トルク エッジワイズ法、エッジワイズ装置、バンド、スタンダードブラケット、ストレートブラケット、チューブ、アーチワイヤー、結紮線、ブラケットハイト、ブラケットアンギュレーション、ファーストオーダーバンド、セカンドオーダーバンド、サードオーダーバンド、Begg法					
担当	有輪 政尊					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書 P195-199、229-239 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-1,D-5-5-2,D-5-5-3,D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-8,各論 I-10-ウ,各論 I-10-イ,各論 I-10-オ,各論 I-10-カ,各論 I-10-キ,各論 I-10-ク,各論 I-1-ア-a,各論 I-1-ア-b,各論 I-1-イ-a,各論 I-1-イ-b,各論 I-1-イ-c,各論 I-1-イ-d,各論 I-1-イ-e,各論 I-1-イ-f,各論 I-1-ウ-a,各論 I-1-ウ-b,各論 I-1-ウ-c,各論 I-1-ウ-d,各論 I-1-ウ-e,各論 I-1-イ-a,各論 I-1-イ-b,各論 I-2-ア-a,各論 I-2-ア-b,各論 I-2-イ-a,各論 I-2-イ-b,各論 I-2-イ-c,各論 I-2-イ-d,各論 I-2-イ-e,各論 I-2-イ-f,各論 I-2-イ-g,各論 I-2-イ-h,各論 I-2-イ-i,各論 I-2-ウ-a,各論 I-2-ウ-b,各論 I-2-ウ-c,各論 I-3-ア-a,各論 I-3-ア-b,各論 I-3-ア-c,各論 I-3-ア-d,各論 I-3-ア-e,各論 I-3-イ-a,各論 I-3-イ-b,各論 I-3-イ-c,各論 I-3-イ-d,各論 I-3-イ-e,各論 I-3-ウ-a,各論 I-3-ウ-b,各論 I-3-ウ-c,各論 I-3-ウ-d,各論 I-3-ウ-e,各論 I-3-イ-a,各論 I-3-イ-b,各論 I-3-イ-c,各論 I-4-ア-a,各論 I-4-ア-b,各論 I-4-イ,各論 I-4-ウ,各論 I-4-イ,各論 I-4-オ,各論 I-5-ア,各論 I-5-イ,各論 I-5-ウ,各論 I-5-イ,各論 I-6-ア,各論 I-6-イ,各論 I-6-ウ,各論 I-6-イ,各論 I-6-イ,各論 I-7-ア,各論 I-7-イ,各論 I-7-ウ,各論 I-7-イ,各論 I-9-ア-a,各論 I-9-ア-b,各論 I-9-ア-c,各論 I-9-ア-d,各論 I-9-イ-a,各論 I-9-イ-b,各論 I-9-イ-c,各論 I-9-ウ,各論 I-9-イ-a,各論 I-9-イ-b,各論 I-9-オ-a,各論 I-9-オ-b,各論 I-9-オ-c,各論 I-9-オ-d,各論 I-9-カ-a,各論 I-9-カ-b,各論 I-9-キ-a,各論 I-9-キ-b,各論 I-9-キ-c,各論 I-9-キ-d,各論 I-9-キ-e,各論 I-10-ア-a,各論 I-10-ア-b,各論 I-10-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_018_6/16_2	2026/06/16	2		講義	11番教室	60
ユニット	矯正用材料の特性 矯正用材料、矯正用器械、器具					
サブユニット	矯正用材料の特性 矯正用材料、矯正用器械、器具					

授業目標	1. 矯正用材料および器械の特性について理解できる。
キーワード	応力ひずみ曲線、弾性エネルギー、18-8ステンレス線、Ni-Cr線、NiTi線、線、Co-Cr線、超弾性、形状記憶合金、持続的矯正力、接着剤 荷重-たわみ曲線、弾性エネルギー、ステンレススチール、コバルトクロム合金、ニッケルチタン合金、エラストック、接着剤、床用レジ ン線材料・ワイヤー、バンド材料、ブラケット、接着剤、エラストック、床用レジン、バンド作製のための器具、線屈曲のためのブライヤー、装着のための器 具、ワイヤーの切断に用いる器具
担当	有輪 政尊
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書 P212-217、402-420 事後学習 講義の内容
コアカリ(令和4年)	D-5-5-1,D-5-5-2,D-5-5-3,D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6
国試出題基準(令和5年)	各論 I-8,各論 I-10-ウ,各論 I-10-エ,各論 I-10-オ,各論 I-10-カ,各論 I-10-キ,各論 I-10-ク,各論 I-1-ア-a,各論 I-1-ア-b,各論 I-1-イ-a,各論 I-1-イ-b,各論 I-1-イ-c,各論 I-1-イ-d,各論 I-1-イ-e,各論 I-1-イ-f,各論 I-1-ウ-a,各論 I-1-ウ-b,各論 I-1-ウ-c,各論 I-1-ウ-d,各論 I-1-ウ-e,各論 I-1-エ-a,各論 I-1-エ-b,各論 I-2-ア-a,各論 I-2-ア-b,各論 I-2-イ-a,各論 I-2-イ-b,各論 I-2-イ-c,各論 I-2-イ-d,各論 I-2-イ-e,各論 I-2-イ-f,各論 I-2-イ-g,各論 I-2-イ-h,各論 I-2-イ-i,各論 I-2-ウ-a,各論 I-2-ウ-b,各論 I-2-ウ-c,各論 I-3-ア-a,各論 I-3-ア-b,各論 I-3-ア-c,各論 I-3-ア-d,各論 I-3-ア-e,各論 I-3-イ-a,各論 I-3-イ-b,各論 I-3-イ-c,各論 I-3-イ-d,各論 I-3-イ-e,各論 I-3-ウ-a,各論 I-3-ウ-b,各論 I-3-ウ-c,各論 I-3-ウ-d,各論 I-3-ウ-e,各論 I-3-エ-a,各論 I-3-エ-b,各論 I-3-エ-c,各論 I-4-ア-a,各論 I-4-ア-b,各論 I-4-イ,各論 I-4-ウ,各論 I-4-エ,各論 I-4-オ,各論 I-5-ア,各論 I-5-イ,各論 I-5-ウ,各論 I-5-エ,各論 I-6-ア,各論 I-6-イ,各論 I-6-ウ,各論 I-6-エ,各論 I-7-ア,各論 I-7-イ,各論 I-7-ウ,各論 I-7-エ,各論 I-9-ア-a,各論 I-9-ア-b,各論 I-9-ア-c,各論 I-9-ア-d,各論 I-9-イ-a,各論 I-9-イ-b,各論 I-9-イ-c,各論 I-9-ウ,各論 I-9-エ-a,各論 I-9-エ-b,各論 I-9-オ-a,各論 I-9-オ-b,各論 I-9-オ-c,各論 I-9-オ-d,各論 I-9-カ-a,各論 I-9-カ-b,各論 I-9-キ-a,各論 I-9-キ-b,各論 I-9-キ-c,各論 I-9-キ-d,各論 I-9-キ-e,各論 I-10-ア-a,各論 I-10-ア-b,各論 I-10-イ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_019_6/16_3	2026/06/16	3		講義	11番教室	60
ユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療 矯正装置①					
サブユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療 矯正装置①					
授業目標	1. 矯正装置の基本的条件と分類を理解できる。 2. 器械的矯正装置及び機能的矯正装置の特徴を理解できる。					
キーワード	器械的矯正装置、機能的矯正装置、可撤式矯正装置、固定式矯正装置、唇側弧線装置、舌側弧線装置、顎間固定装置、パラタルアーチ、Nanceホールディングアーチ、タンククリブ					
担当	山口 徹太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P218-229 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-ア-a,各論 I-9-ア-b,各論 I-9-ア-c,各論 I-9-ア-d,各論 I-9-イ-a,各論 I-9-イ-b,各論 I-9-イ-c,各論 I-9-ウ,各論 I-9-エ-a,各論 I-9-エ-b,各論 I-9-オ-a,各論 I-9-オ-b,各論 I-9-オ-c,各論 I-9-オ-d,各論 I-9-カ-a,各論 I-9-カ-b,各論 I-9-キ-a,各論 I-9-キ-b,各論 I-9-キ-c,各論 I-9-キ-d,各論 I-9-キ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_020_6/16_4	2026/06/16	4		講義	11番教室	60
ユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療 矯正装置②					
サブユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療 矯正装置②					
授業目標	3. 各種矯正装置の特徴と使用目的を理解できる。					
キーワード	マルチブラケット装置、Angle、エッジワイズ法、バンド、ブラケット、チューブ、スタンダードブラケット、ストレートワイヤーブラケット(ブリアジャステッドブラケット)、セルフライゲーションブラケット、リングブラケット、アーチワイヤー、フック、結紮線、エラストックモジュール、コイルスプリング、エラストックチェーン、エラストックリング、ブラケットハイト、ブラケットアンギュレーション、レクタングュラーワイヤー、ラウンドワイヤー、ファーストオーダーバンド、セカンドオーダーバンド、サードオーダーバンド、ループ、クローズングループ、スライディングメカニクス、Ⅱ級ゴム、Ⅲ級ゴム、垂直ゴム、Begg 法					
担当	山口 徹太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P218-229 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容					

コアカリ(令和4年)	D-5-5-4
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-A-a,各論 I-9-A-b,各論 I-9-A-c,各論 I-9-A-d,各論 I-9-I-a,各論 I-9-I-b,各論 I-9-I-c,各論 I-9-U,各論 I-9-I-a,各論 I-9-I-b,各論 I-9-O-a,各論 I-9-O-b,各論 I-9-O-c,各論 I-9-O-d,各論 I-9-K-a,各論 I-9-K-b,各論 I-9-K-a,各論 I-9-K-b,各論 I-9-K-c,各論 I-9-K-d,各論 I-9-K-e

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_021_6/17_1	2026/06/17	1		講義	11番教室	60
ユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療 矯正装置③					
サブユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療 矯正装置③					
授業目標	4. 各種矯正装置の特徴と使用目的を理解できる。 拡大装置 床矯正装置 顎外固定装置					
キーワード	急速拡大装置、緩徐拡大装置、クワドヘリックス、拡大床装置、床矯正装置、咬合斜面板、咬合挙上板、スライディングプレート、顎外固定装置、ヘッドギア、ハイブルヘッドギア、サービカルブルヘッドギア、ストレートブルヘッドギア、テンキャップ、上顎前方牽引装置					
担当	山口 徹太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P239-254 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-A-a,各論 I-9-A-b,各論 I-9-A-c,各論 I-9-A-d,各論 I-9-I-a,各論 I-9-I-b,各論 I-9-I-c,各論 I-9-U,各論 I-9-I-a,各論 I-9-I-b,各論 I-9-O-a,各論 I-9-O-b,各論 I-9-O-c,各論 I-9-O-d,各論 I-9-K-a,各論 I-9-K-b,各論 I-9-K-a,各論 I-9-K-b,各論 I-9-K-c,各論 I-9-K-d,各論 I-9-K-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_022_6/17_2	2026/06/17	2		講義	11番教室	60
ユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療 矯正装置④					
サブユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療 矯正装置④					
授業目標	5. 各種矯正装置の特徴と使用目的を理解できる。 6. その他の矯正装置 拡大装置 機能的矯正装置					
キーワード	機能的矯正装置、アクチバートル、バイオネーター、Frankel装置(ファンクショナルレギュレーター)、リップバンパー、Bimlerのアダプター、バイトジャンプアプラインス、Herbst装置、ペンデュラム装置					
担当	山口 徹太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P257-268 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-A-a,各論 I-9-A-b,各論 I-9-A-c,各論 I-9-A-d,各論 I-9-I-a,各論 I-9-I-b,各論 I-9-I-c,各論 I-9-U,各論 I-9-I-a,各論 I-9-I-b,各論 I-9-O-a,各論 I-9-O-b,各論 I-9-O-c,各論 I-9-O-d,各論 I-9-K-a,各論 I-9-K-b,各論 I-9-K-a,各論 I-9-K-b,各論 I-9-K-c,各論 I-9-K-d,各論 I-9-K-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_023_6/17_3	2026/06/17	3		講義	11番教室	60
ユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療					
サブユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療					
授業目標	1. 乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療の診断、治療法を理解できる。					

キーワード	スペースコントロール、咬頭干渉・早期接触の除去、口腔習癖の除去、反対咬合(下顎前突)、交叉咬合、下顎遠心咬合(上顎前突)、開咬、過蓋咬合
担当	山口 徹太郎
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P117-122、P269-296 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-ア-a 各論 I-9-ア-b 各論 I-9-ア-c 各論 I-9-ア-d 各論 I-9-イ-a 各論 I-9-イ-b 各論 I-9-イ-c 各論 I-9-ウ 各論 I-9-エ-a 各論 I-9-エ-b 各論 I-9-オ-a 各論 I-9-オ-b 各論 I-9-オ-c 各論 I-9-オ-d 各論 I-9-カ-a 各論 I-9-カ-b 各論 I-9-キ-a 各論 I-9-キ-b 各論 I-9-キ-c 各論 I-9-キ-d 各論 I-9-キ-e

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_024_6/17_4	2026/06/17	4		講義	11番教室	60
ユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療					
サブユニット	乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療					
授業目標	1. 乳歯・混合歯列期の矯正歯科治療の診断、治療法を理解できる。					
キーワード	スペースコントロール、咬頭干渉・早期接触の除去、口腔習癖の除去、反対咬合(下顎前突)、交叉咬合、下顎遠心咬合(上顎前突)、開咬、過蓋咬合					
担当	山口 徹太郎					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P117-122、P269-296 (図表を中心に学習してください) 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-ア-a 各論 I-9-ア-b 各論 I-9-ア-c 各論 I-9-ア-d 各論 I-9-イ-a 各論 I-9-イ-b 各論 I-9-イ-c 各論 I-9-ウ 各論 I-9-エ-a 各論 I-9-エ-b 各論 I-9-オ-a 各論 I-9-オ-b 各論 I-9-オ-c 各論 I-9-オ-d 各論 I-9-カ-a 各論 I-9-カ-b 各論 I-9-キ-a 各論 I-9-キ-b 各論 I-9-キ-c 各論 I-9-キ-d 各論 I-9-キ-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_025_6/23_1	2026/06/23	1		実習	臨床実習室2	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動①					
授業目標	1. プライヤーの名称と使用目的について理解できる。 2. ワイヤー屈曲の方法について実践できる。					
キーワード	バンドプッシャー、バンドリムービングプライヤー、Youngのプライヤー、Pessoのプライヤー、Howeのプライヤー、Tweedのプライヤー、Jarabackのプライヤー、ピンカッター、ユーティリティプライヤー、バードピック、アーチホーマー、セパレーティングエラスティックプライヤー					
担当	山口 徹太郎, 畠中 玲奈, 有輪 政尊, 池中 僚亮, 岩田 敏男, 上田 聖士郎, 大塚 剛郎, 奥村 由香, 小泉 創, 高橋 宏治, 高橋 正皓, 塚田 恵造, 中丸 正貴, 二階堂 修, 能見 紘輔, 朴 熙泰, 彦坂 有希, 松本 留実, 三宅 真次郎, 山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-ア-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_026_6/23_2	2026/06/23	2		実習	臨床実習室2	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動①					

授業目標	1. ブライヤーの名称と使用目的について理解できる。 2. ワイヤー屈曲の方法について実践できる。 3. ろう付けを行うことができる。
キーワード	バンドブッシャー、バンドリムービングブライヤー、Youngのブライヤー、Pessoのブライヤー、Howeのブライヤー、Tweedのブライヤー、Jarabackのブライヤー、ピンカッター、ユーティリティブライヤー、バードピーク、アーチホーマー、セパレーティングエラストックブライヤー
担当	山口 徹太郎, 畠中 玲奈, 有輪 政尊, 池中 僚亮, 岩田 敏男, 上田 聖士郎, 大塚 剛郎, 奥村 由香, 小泉 創, 高橋 宏治, 高橋 正皓, 塚田 恵造, 中丸 正貴, 二階堂 修, 能見 紘輔, 朴 熙泰, 彦坂 有希, 松本 留実, 三宅 真次郎, 山口 茉奈美
学修範囲(事前事後学修)	事後学習 講義の内容
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-A-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_027_6/23_3	2026/06/23	3		実習	臨床実習室2	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動①					
授業目標	1. 自在鑑着を行なうことができる。 2. 舌側弧線装置の構造を理解できる。 3. 舌側弧線装置の適応症について理解できる。 4. 作製手順について理解できる。 5. 術前の写真記録と不正状態の記録ができる。 6. 維持バンドの装着ができる。 7. 作業模型の作製手順について理解できる。					
キーワード	0.9mm線、自在鑑着、銀鑑、バーナー、還元炎、維持バンド、バンドブッシャー					
担当	山口 徹太郎, 畠中 玲奈, 有輪 政尊, 池中 僚亮, 岩田 敏男, 上田 聖士郎, 大塚 剛郎, 奥村 由香, 小泉 創, 高橋 宏治, 高橋 正皓, 塚田 恵造, 中丸 正貴, 二階堂 修, 能見 紘輔, 朴 熙泰, 彦坂 有希, 松本 留実, 三宅 真次郎, 山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 講義プリント(装置) 教科書 P212-268					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-A-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_028_6/23_4	2026/06/23	4		実習	臨床実習室2	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動①					
授業目標	8. 維持管のろう付けができる。 9. 脚の屈曲ができる。					
キーワード	維持装置(STロック)、0.9mm線					
担当	山口 徹太郎, 畠中 玲奈, 有輪 政尊, 池中 僚亮, 岩田 敏男, 上田 聖士郎, 大塚 剛郎, 奥村 由香, 小泉 創, 高橋 宏治, 高橋 正皓, 塚田 恵造, 中丸 正貴, 二階堂 修, 能見 紘輔, 朴 熙泰, 彦坂 有希, 松本 留実, 三宅 真次郎, 山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 講義プリント(装置) 教科書 P212-268					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-A-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_029_6/24_1	2026/06/24	1		実習	臨床実習室2	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動① ワイヤー屈曲					

授業目標	1. プライヤーの名称と使用目的にて理解できる。 2. ワイヤー屈曲の方法について実践できる。
キーワード	バンドプッシャー、バンドリムービングプライヤー、Youngのプライヤー、Pessoのプライヤー、Howeのプライヤー、Tweedのプライヤー、Jarabackのプライヤー、ピンカッター、ユーティリティプライヤー、バードピック、アーチホーマー、セパレーティングエラスティックプライヤー
担当	山口 徹太郎, 畠中 玲奈, 有輪 政尊, 池中 僚亮, 岩田 敏男, 上田 聖士郎, 大塚 剛郎, 奥村 由香, 小泉 創, 高橋 宏治, 高橋 正皓, 塚田 恵造, 中丸 正貴, 二階堂 修, 能見 紘輔, 朴 熙泰, 彦坂 有希, 松本 留実, 三宅 真次郎, 山口 茉奈美
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書 P212-225、402-420 事前配布資料 事後学修 講義内容 教科書 P212-225、402-420 事前配布資料
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-A-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_030_6/24_2	2026/06/24	2		実習	臨床実習室2	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動① ワイヤー屈曲					
授業目標	1. プライヤーの名称と使用目的にて理解できる。 2. ワイヤー屈曲の方法について実践できる。 3. ろう付けを行うことができる。					
キーワード	バンドプッシャー、バンドリムービングプライヤー、Youngのプライヤー、Pessoのプライヤー、Howeのプライヤー、Tweedのプライヤー、Jarabackのプライヤー、ピンカッター、ユーティリティプライヤー、バードピック、アーチホーマー、セパレーティングエラスティックプライヤー					
担当	山口 徹太郎, 畠中 玲奈, 有輪 政尊, 池中 僚亮, 岩田 敏男, 上田 聖士郎, 大塚 剛郎, 奥村 由香, 小泉 創, 高橋 宏治, 高橋 正皓, 塚田 恵造, 中丸 正貴, 二階堂 修, 能見 紘輔, 朴 熙泰, 彦坂 有希, 松本 留実, 三宅 真次郎, 山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書 P212-225、402-420 事前配布資料 事後学修 講義内容 教科書 P212-225、402-420 事前配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-A-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_031_6/24_3	2026/06/24	3		実習	臨床実習室2	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動① 自在鑑着 舌側弧線装置①					
授業目標	1. 自在鑑着を行なうことができる。 2. 舌側弧線装置の構造を理解できる。 3. 舌側弧線装置の適応症について理解できる。 4. 作製手順について理解できる。 5. 術前の写真記録と不正状態の記録ができる。 6. 維持バンドの装着ができる。 7. 作業模型の作製手順について理解できる。					
キーワード	0.9mm線、自在鑑着、銀鑑、バーナー、還元炎、維持バンド、バンドプッシャー					
担当	山口 徹太郎, 畠中 玲奈, 有輪 政尊, 池中 僚亮, 岩田 敏男, 上田 聖士郎, 大塚 剛郎, 奥村 由香, 小泉 創, 高橋 宏治, 高橋 正皓, 塚田 恵造, 中丸 正貴, 二階堂 修, 能見 紘輔, 朴 熙泰, 彦坂 有希, 松本 留実, 三宅 真次郎, 山口 茉奈美					

学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書 P212-225、402-420 事前配布資料 事後学修 講義内容 教科書 P212-225、402-420 事前配布資料
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-7-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_032_6/24_4	2026/06/24	4		実習	臨床実習室2	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動① 自在鑑着 舌側弧線装置②					
授業目標	8. 維持管のろう付けができる。 9. 脚の屈曲ができる。					
キーワード	維持装置(STロック)、0.9mm線					
担当	山口 徹太郎, 畠中 玲奈, 有輪 政尊, 池中 僚亮, 岩田 敏男, 上田 聖士郎, 大塚 剛郎, 奥村 由香, 小泉 創, 高橋 宏治, 高橋 正皓, 塚田 恵造, 中丸 正貴, 二階堂 修, 能見 紘輔, 朴 熙泰, 彦坂 有希, 松本 留実, 三宅 真次郎, 山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書 P212-225、402-420 事前配布資料 事後学修 講義内容 教科書 P215-225、402-420 事前配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9-7-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_033_6/30_1	2026/06/30	1		実習	臨床実習室2	60
ユニット	矯正装置作製と歯の移動②マルチブラケット装置① マルチブラケット治療の概要					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動② マルチブラケット装置①					
授業目標	1. エッジワイズ装置の構成を理解できる。 2. Bondingを体験できる。 3. 結紮を体験できる。					
キーワード	アイディアルアーチ、レクタングラーワイヤー、1st order bend(唇頬舌方向)、2nd order bend(垂直的の屈曲、傾斜)、3rd order bend(トルク)、Tweedのアーチベンディングブライヤー、歯の移動様式					
担当	山口徹太郎, 有輪 政尊, 池中 僚亮, 岩田 敏男, 上田 聖士郎, 大塚 剛郎, 奥村 由香, 小泉 創, 高橋 宏治, 高橋 正皓, 塚田 恵造, 中丸 正貴, 二階堂 修, 能見 紘輔, 朴 熙泰, 畠中 玲奈, 彦坂 有希, 松本 留実, 三宅 真次郎, 山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書P195-217、P229-239、297-341、402-420 事前配布資料 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4, D-5-5-5, D-5-5-6					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-10-ウ, 総論VII-2-7-e, 各論 I-7-ア, 各論 I-9-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_034_6/30_2	2026/06/30	2		実習	臨床実習室2	60

ユニット	矯正装置作製と歯の移動②マルチブラケット装置② 歯の移動
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動② マルチブラケット装置②
授業目標	4. 歯の移動について理解できる。 5. NiTiワイヤーを用いて歯の移動を行える。 6. 舌側弧線装置による歯の移動を行える。
キーワード	アイディアアルーチ、レクトアンギュラーワイヤー、1st order bend(唇類舌方向)、2nd order bend(垂直的屈曲、傾斜)、3rd order bend(トルク)、Tweedのアーチベンディングブライヤー、歯の移動様式
担当	山口徹太郎,有輪 政尊,池中 僚亮,岩田 敏男,上田 聖士郎,大塚 剛郎,奥村 由香,小泉 創,高橋 宏治,高橋 正皓,塚田 恵造,中丸 正貴,二階堂 修,能見 紘輔,朴 熙泰,畠中 玲奈,彦坂 有希,松本 留実,三宅 真次郎,山口 茉奈美
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書P195-217、P229-239、297-341、402-420 事前配布資料 事後学習 講義の内容
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6
国試出題基準(令和5年)	各論 I-10-ウ,総論VII-2-ア-e,各論 I-7-ア,各論 I-9-ウ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_035_6/30_3	2026/06/30	3		実習	臨床実習室2	60
ユニット	矯正装置作製と歯の移動②マルチブラケット装置③ 歯の移動					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動② マルチブラケット装置③					
授業目標	7. NiTiワイヤーを用いて歯の移動を行える。 8. 舌側弧線装置による歯の移動を行える。					
キーワード	アイディアアルーチ、レクトアンギュラーワイヤー、1st order bend(唇類舌方向)、2nd order bend(垂直的屈曲、傾斜)、3rd order bend(トルク)、Tweedのアーチベンディングブライヤー、歯の移動様式					
担当	山口徹太郎,有輪 政尊,池中 僚亮,岩田 敏男,上田 聖士郎,大塚 剛郎,奥村 由香,小泉 創,高橋 宏治,高橋 正皓,塚田 恵造,中丸 正貴,二階堂 修,能見 紘輔,朴 熙泰,畠中 玲奈,彦坂 有希,松本 留実,三宅 真次郎,山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書P195-217、P229-239、297-341、402-420 事前配布資料 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-10-ウ,総論VII-2-ア-e,各論 I-7-ア,各論 I-9-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_036_6/30_4	2026/06/30	4		実習	臨床実習室2	60
ユニット	矯正装置作製と歯の移動②マルチブラケット装置④ 歯の移動					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動② マルチブラケット装置④					
授業目標	9. Co-Crワイヤーを屈曲できる。 10. Co-Crワイヤーを熱処置を行なうことができる。 11. Co-Crワイヤーを結紮できる。 12. 舌側弧線装置とマルチブラケット装置による歯の移動ができる。					
キーワード	アイディアアルーチ、レクトアンギュラーワイヤー、1st order bend(唇類舌方向)、2nd order bend(垂直的屈曲、傾斜)、3rd order bend(トルク)、Tweedのアーチベンディングブライヤー、歯の移動様式					
担当	有輪 政尊,池中 僚亮,岩田 敏男,上田 聖士郎,大塚 剛郎,奥村 由香,小泉 創,高橋 宏治,高橋 正皓,塚田 恵造,中丸 正貴,二階堂 修,能見 紘輔,朴 熙泰,畠中 玲奈,彦坂 有希,松本 留実,三宅 真次郎,山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書P195-217、P229-239、297-341、402-420 事前配布資料 事後学習 講義の内容					

コアカリ(令和4年)	D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6
国試出題基準(令和5年)	各論 I-10-ウ,総論VII-2-ア-e,各論 I-7-ア,各論 I-9-ウ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_037_7/1_1	2026/07/01	1		実習	臨床実習室2	60
ユニット	矯正装置作製と歯の移動②マルチブラケット装置⑤ 歯の移動 エッジワイズ法の理解					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動② マルチブラケット装置⑤					
授業目標	13. アイディアアーチを理解できる。 14. アイディアアーチを屈曲することができる。					
キーワード	アイディアアーチ、レクトアンギュラーワイヤー、1st order bend(唇類舌方向)、2nd order bend(垂直的の屈曲、傾斜)、3rd order bend(トルク)、Tweedのアーチベンディングブライヤー、歯の移動様式					
担当	山口徹太郎,有輪 政尊,池中 僚亮,岩田 敏男,上田 聖士郎,大塚 剛郎,奥村 由香,小泉 創,高橋 宏治,高橋 正皓,塚田 恵造,中丸 正貴,二階堂 修,能見 紘輔,朴 熙泰,畠中 玲奈,彦坂 有希,松本 留実,三宅 真次郎,山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書P195-217、P229-239、297-341、402-420 事前配布資料 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-10-ウ,総論VII-2-ア-e,各論 I-7-ア,各論 I-9-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_038_7/1_2	2026/07/01	2		実習	臨床実習室2	60
ユニット	矯正装置作製と歯の移動②マルチブラケット装置⑥ 歯の移動					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動② マルチブラケット装置⑥					
授業目標	15. アイディアアーチによる歯の移動について理解できる。 16. 舌側弧線装置による歯の移動を理解できる。					
キーワード	アイディアアーチ、レクトアンギュラーワイヤー、1st order bend(唇類舌方向)、2nd order bend(垂直的の屈曲、傾斜)、3rd order bend(トルク)、Tweedのアーチベンディングブライヤー、歯の移動様式					
担当	山口徹太郎,有輪 政尊,池中 僚亮,岩田 敏男,上田 聖士郎,大塚 剛郎,奥村 由香,小泉 創,高橋 宏治,高橋 正皓,塚田 恵造,中丸 正貴,二階堂 修,能見 紘輔,朴 熙泰,畠中 玲奈,彦坂 有希,松本 留実,三宅 真次郎,山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書P195-217、P229-239、297-341、402-420 事前配布資料 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-10-ウ,総論VII-2-ア-e,各論 I-7-ア,各論 I-9-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_039_7/1_3	2026/07/01	3		実習	臨床実習室2	60
ユニット	矯正装置作製と歯の移動②マルチブラケット装置⑦ 歯の移動					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動② マルチブラケット装置⑦					
授業目標	17. アイディアアーチによる歯の移動について理解できる。 18. 舌側弧線装置による歯の移動を理解できる。					
キーワード	アイディアアーチ、レクトアンギュラーワイヤー、1st order bend(唇類舌方向)、2nd order bend(垂直的の屈曲、傾斜)、3rd order bend(トルク)、Tweedのアーチベンディングブライヤー、歯の移動様式					
担当	山口徹太郎,有輪 政尊,池中 僚亮,岩田 敏男,上田 聖士郎,大塚 剛郎,奥村 由香,小泉 創,高橋 宏治,高橋 正皓,塚田 恵造,中丸 正貴,二階堂 修,能見 紘輔,朴 熙泰,畠中 玲奈,彦坂 有希,松本 留実,三宅 真次郎,山口 茉奈美					

学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書P195-217、P229-239、297-341、402-420 事前配布資料 事後学習 講義の内容
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6
国試出題基準(令和5年)	各論 I-10-ウ,総論VII-2-ア-e,各論 I-7-7,各論 I-9-ウ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_040_7/1_4	2026/07/01	4		実習	臨床実習室2	60
ユニット	矯正装置作製と歯の移動②マルチブラケット装置⑧ 歯の移動 ユニット試験					
サブユニット	矯正装置作製と歯の移動② マルチブラケット装置⑧					
授業目標	19. 治療後の写真撮影と咬合状態の記録ができる。					
キーワード	アイディアルアーチ、レクトアンギュラーワイヤー、1st order bend(唇類舌方向)、2nd order bend(垂直的屈曲、傾斜)、3rd order bend(トルク)、Tweedのアーチベンディングブライヤー、歯の移動様式					
担当	山口徹太郎,有輪 政尊,池中 僚亮,岩田 敏男,上田 聖士郎,大塚 剛郎,奥村 由香,小泉 創,高橋 宏治,高橋 正皓,塚田 恵造,中丸 正貴,二階堂 修,能見 紘輔,朴 熙泰,畠中 玲奈,彦坂 有希,松本 留実,三宅 真次郎,山口 茉奈美					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習の範囲 教科書P195-217、P229-239、297-341、402-420 事前配布資料 事後学習 講義の内容					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4,D-5-5-5,D-5-5-6					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-10-ウ,総論VII-2-ア-e,各論 I-7-7,各論 I-9-ウ					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_041_7/7_1	2026/07/07	1		講義	11番教室	60
ユニット	口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療					
サブユニット	口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療					
授業目標	1. 口唇裂・口蓋裂の矯正歯科治療の診断、治療法を理解できる。					
キーワード	術前顎矯正治療、ホットツ床、Nasoalveolar Molding装置、顎裂部骨移植、瘢痕組織、鼻咽腔閉鎖機能、口蓋形成術					
担当	高橋 正皓					
学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P351-359 事前配布資料 事後学修 講義内容					
コアカリ(令和4年)	A-2-4-1,A-2-4-3,A-2-4-4,D-5-5-3,D-6-1-3,D-6-2-3					
国試出題基準(令和5年)	必修6-イ-d,必修6-イ-h,各論 I-10-I,総論III-2-ア-a,総論 II-8-7,総論 II-8-I,各論 I-1-7					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_042_7/7_2	2026/07/07	2		講義	11番教室	60
ユニット	顎変形症の矯正歯科治療					
サブユニット	顎変形症の矯正歯科治療					
授業目標	1. 顎変形症の矯正歯科治療の診断、治療法を理解できる。					
キーワード	術前矯正治療、顎矯正手術、下顎枝矢状分割術、下顎枝垂直骨切り術、上顎前歯部骨切り術、上顎Le Fort I型骨切り術、上下顎移動術、術後矯正治療、デンタルコンペンセーション、デンタルディコンペンセーション					
担当	有輪 政尊					

学修範囲(事前事後学修)	事前学修範囲 教科書 P360-367 事前配布資料 事後学修 講義内容
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4
国試出題基準(令和5年)	総論Ⅲ-2-ア-e,総論Ⅲ-2-ア-g,各論Ⅲ-2-ア,各論Ⅲ-2-イ

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_043_7/7_3	2026/07/07	3		実習	11番教室	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置、ブライヤー見学					
授業目標	1. 矯正装置種類と構造を理解できる。 2. 矯正装置作用機序を理解できる。					
キーワード	ヘッドギア、テンキャップ、上顎前方牽引装置、舌側弧線装置、急速拡大装置、顎間固定装置、アクチバートル、バイオネーター、フレンケル装置、Bimlerのアダプター、咬合斜面板、咬合挙上板、タングクリブ、リップバンパー、オーラルスクリーン、バンドプッシャー、バンドリムービングブライヤー、Youngのブライヤー、Pessoのブライヤー、Howeのブライヤー、Tweedのブライヤー、Jarabackのブライヤー、ピンカッター、ユーティリティーブライヤー、パードピーク、アーチホーマー、セパレーティングエラスティックブライヤー					
担当	池中 僚亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習 教科書P218～268 事後学習 教科書P218～268,配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
O4202_044_7/7_4	2026/07/07	4		実習	臨床実習室2	60
ユニット	治療学					
サブユニット	矯正装置、ブライヤー見学					
授業目標	1. 矯正装置種類と構造を理解できる。 2. 矯正装置作用機序を理解できる。					
キーワード	ヘッドギア、テンキャップ、上顎前方牽引装置、舌側弧線装置、急速拡大装置、顎間固定装置、アクチバートル、バイオネーター、フレンケル装置、Bimlerのアダプター、咬合斜面板、咬合挙上板、タングクリブ、リップバンパー、オーラルスクリーン、バンドプッシャー、バンドリムービングブライヤー、Youngのブライヤー、Pessoのブライヤー、Howeのブライヤー、Tweedのブライヤー、Jarabackのブライヤー、ピンカッター、ユーティリティーブライヤー、パードピーク、アーチホーマー、セパレーティングエラスティックブライヤー					
担当	池中 僚亮					
学修範囲(事前事後学修)	事前学習 教科書P218～268 事後学習 教科書P218～268,配布資料					
コアカリ(令和4年)	D-5-5-4					
国試出題基準(令和5年)	各論 I-9					